

まちづくりNEWS

旭川市総合計画市民検討会議

全体会議 vol.1

平成26年6月20日

(発行元)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

旭川市1条通8丁目 フィール旭川7階

TEL/FAX 26-0338

(委託者)旭川市総合政策部総合計画課

旭川市総合計画市民検討会議がスタートしました！！

5月23日（金）市民文化会館大会議室において、第1回旭川市総合計画市民検討会議が開催されました。この市民検討会議は、平成28年度からの新たな総合計画の策定に向けた検討を行うために設置された市の私的諮問機関です。公募委員10名、団体推薦委員28名、学識経験者9名の計47名で構成し、旭川市が目指すまちの姿やその実現のための具体的な方策について検討を行い、今年10月頃に市長へ提言書を提出します。

市民検討会議の主なスケジュール



市民検討会議は、第1分科会（福祉・子育て）、第2分科会（教育・文化）、第3分科会（安全・都市基盤）、第4分科会（産業・交流）の4つの分科会に分かれて、議論を開始することとなりました。

なお、検討会議の議長に坂本委員、副議長に松野委員、第1分科会座長に栗田委員、同副座長に塩川委員と山田委員、第2分科会座長に大橋委員、同副座長に吉田委員と泉澤委員、第3分科会座長に坂井委員、同副座長に小川委員と重綱委員、第4分科会座長に岡田委員、同副座長に浅沼委員と高橋（仁）委員が指名されました。

（西川市長挨拶要旨）

委員をお引き受けいただき、心からお礼申し上げます。市には、福祉や経済、教育、子育てなど、様々な分野の計画がありますが、総合計画は、市の全ての計画において最上位に位置付けられる計画です。現在の第7次計画が平成27年度で終了することから、平成28年度以降の新たな総合計画の策定に向け、様々な視点から御議論をいただきたいと思いをします。

第7次計画を策定した10年前と比べると、社会情勢は変化しております。例えば、人口減少や超高齢社会、また東京など大都市への一極集中といった問題は、現実的な課題として突き付けられております。こうした中、市民と市役所、民間企業、各団体等が一致団結し、旭川市のまちづくりをどういう方向に進めていくべきなのか、まちの未来をどのように築いていくべきなのか、委員の皆様の思いをぶつけていただきたいと思いをします。

この会議には、様々な職業や年代の委員がおります。また、市役所職員のワーキンググループもオブザーバーとして参加させていただきます。また、この会議の企画運営は、市内の高等教育機関で組織している旭川ウェルビーイング・コンソーシアムに中心的な役割をお願いしています。委員の皆様の思いが込められた素晴らしい提言をいただきたいと思いをしますので、よろしくお願いいたします。



（坂本議長挨拶要旨）

ただいま議長の大役を拝命いたしました旭川医科大学の坂本と申します。先ほど市長の挨拶にもありましたように、この会議の企画運営を旭川ウェルビーイング・コンソーシアムが引き受けることとなり、市内の大学等の先生方に座長、副座長をお引き受けいただきました。

皆さん御存知のとおり、現在、旭川市はもとより、日本全国の地方自治体が大変厳しい状況にあります。旭川市も高齢化や人口減少、若者の就職先が少ないなど、多くの課題に直面しています。

しかし、旭川市は、東北6県及び北海道の中で3番目の人口を有する中核都市です。台風や地震などの自然災害が非常に少なく、大雪山や層雲峡も近く、豊かな自然に囲まれ、安全で良質な農産物が生産されており、全国的な知名度を誇る旭山動物園もあります。また、柔道やスノーボード等でオリンピックのメダリストを輩出するなど、スポーツが盛んなまちです。さらに、文学では、氷点の三浦綾子さんが有名です。旭川には、そうしたプラスの面も多くあります。

旭川のマイナス面をどう克服していくのか、そして、プラス面をどのように伸ばしていくのか、旭川市の将来を見据えて、まちづくりの大きな舵を切るのが次の総合計画ではないかと思いをします。委員をお引き受けいただいた各産業界の皆さんや公募市民の皆さん、市役所の皆さんに、これからの旭川のための様々なアイデアを出していただきたいと思いをしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総合計画の策定に向けて

「総合計画の策定に向けて」ということで、市から①データに見る旭川市、②まちづくり基本条例、③次期総合計画についての説明がありました。

委員からは、20～39歳の女性の人口減少と大都市への人口流出に関する事、総合計画の検証結果と市民ニーズの把握に関する事、総合計画の期間の考え方と市長の任期に関する事などについての質問がありました。



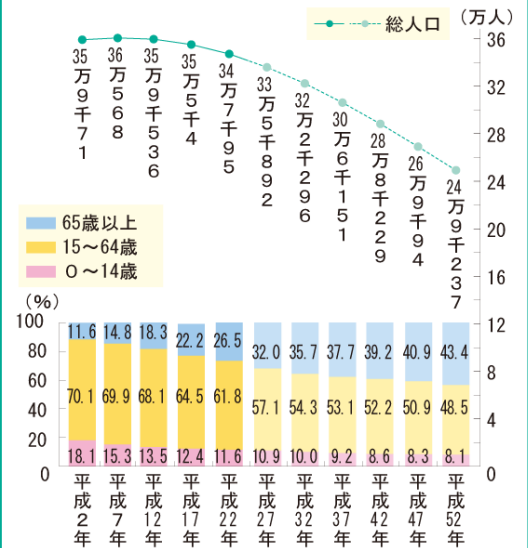
オリエンテーション

オリエンテーションでは、坂本議長の進行により、各分科会を2～3班のグループに分けて、アイスブレイクも兼ねて、旭川市の目指す姿について、KJ法を用いた意見交換を行い、発表しました。

その後、分科会毎に今後の進め方について話し合い、第1回全体会議は終了しました。

次回以降、各分科会に分かれて、具体的な検討を開始します。各グループの主な意見は次のとおりです。

市の人口と年齢構成比の推移と将来人口推計



※平成22年までは国勢調査、それ以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（同25年3月推計）」の推計値です。なお、この推計値は総合計画の指標となるものではありません。

第1分科会(A班)

若者・就労

- ・若い人が夢を持って働ける
- ・若者が就労出来る街

地域のつながり

- ・地域の大人（おじいちゃん、おばあちゃんも）みんながつながれる街
- ・温かい人、町
- ・人と人が支え合って生きていける街
- ・近隣とのつながり

子育て（親支援、子ども支援）

- ・子育て世帯を増やす
- ・地域子育てができる街
- ・親が責任をもって子育てをするまち
- ・子どもの笑顔が溢れるまち
- ・子どもが元気に遊べる街
- ・子どもが過ごしやすい場所づくり
- ・親世代が子育てしやすい場所づくり

まちづくり

- ・バスが時間通りくる
- ・観光客が喜んでくれる
- ・市民、市役所が責任・自覚をもってまちづくりをするまち
- ・札幌につく大きな街
- ・事件・事故の少ない街

教育

- ・教育を受けることができる（小→大学）

高齢者

- ・高齢者がいきいきできるまち



第1分科会(B班)

～全ての人が暮らしやすい街～

子育て

- ・待機児童対策
- ・安心して子育てが出来る町
- ・子育てをしやすい街

ハンディキャップ

- ・障害を持つ人も一緒にようそ
- ・障害があっても暮らしやすいまちづくり

世代間交流

- ・世代間交流がさかんなまちづくり

若者の力

- ・若者が活気あるまちに
- ・若者がカツヤク!
- ・若い世代の雇用を増やす
- ・仕事がある(就職先がある)

地域愛

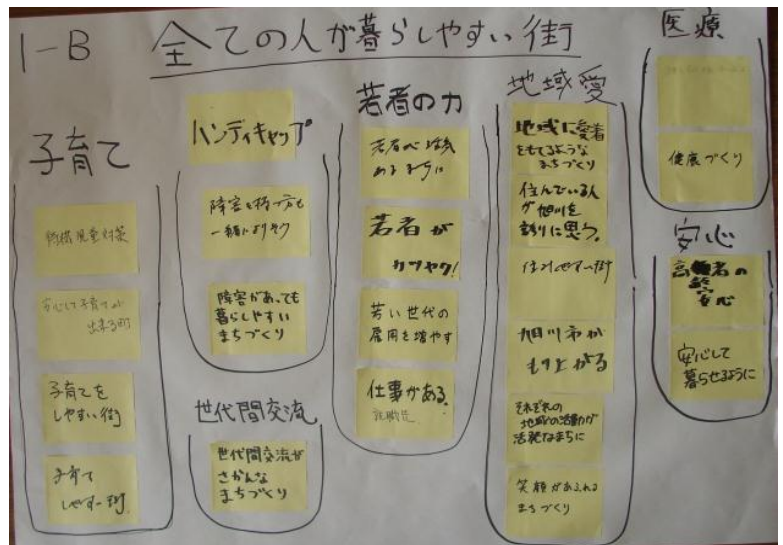
- ・地域に愛着を持てるようなまちづくり
- ・住んでいる人が旭川を誇りに思う
- ・住みやすい街
- ・旭川市がもり上がる
- ・それぞれの地域の活動が活発なまちに
- ・笑顔があふれるまちづくり

医療

- ・健康づくり

安心

- ・高齢者の安心
- ・安心して暮らせるように



第1分科会(C班)

～夢に向かって～

家族

世代をこえて

- ・4世代一緒に生きる
- ・親と子の仲が良い街

子ども

- ・お子様達が安心してらせる街
- ・子どもの成長に寄り添える大人を増やす
- ・非行の少ない明るい街

高齢者

- ・高齢者がいきいきとらせる街
- ・健康寿命の長い街

つながり

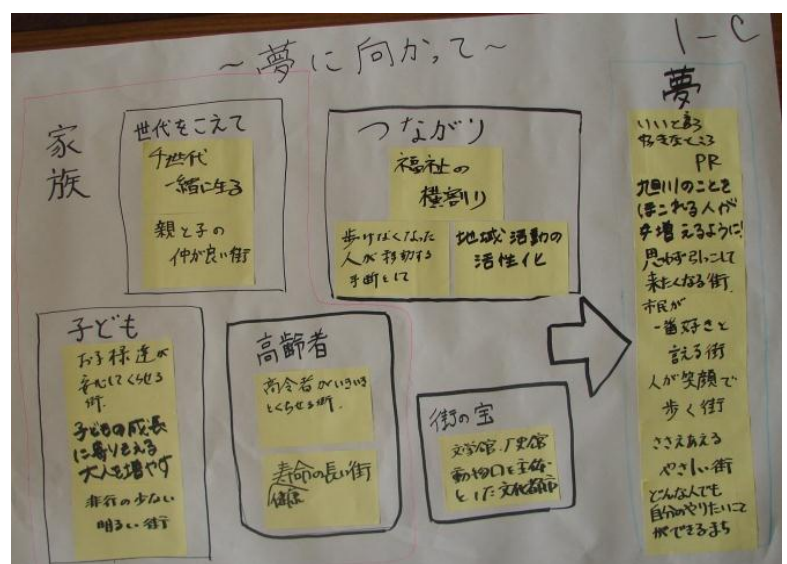
- ・福祉の横割り
- ・歩けなくなった人が移動する手段として
- ・地域活動の活性化

街の宝

- ・文学館、歴史館、動物園を主体とした文化都市

夢

- ・いいところ、好きなところPR
- ・旭川のことをほこれる人が増えるように!
- ・思わず引っ越して来なくなる街
- ・市民が一番好きと言える街
- ・人が笑顔で歩く街
- ・支え合えるやさしい街
- ・どんな人でも自分のやりたことができるまち



第2分科会(A班)

自然

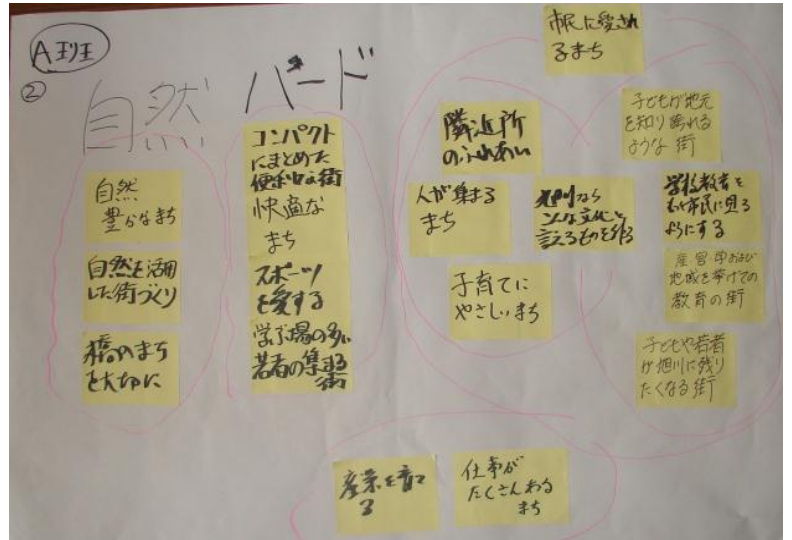
- ・自然豊かなまち
- ・自然を活用した街づくり
- ・橋のまちを大切に

ハード

- ・コンパクトにまとめた便利な街
- ・快適なまち
- ・スポーツを愛する
- ・学び場の多い
- ・若者の集まる街
- ・産業を育てる
- ・仕事がたくさんあるまち

市民に愛されるまち

- ・隣近所のふれあい
- ・旭川ならこんな文化と言えるものを作る
- ・子育てにやさしいまち
- ・子どもが地元を知り誇れるような街
- ・学校教育をもっと市民に見えるようにする。
- ・産・官・学及び地域を挙げての教育の街
- ・子どもや若者が旭川に残りたくなるような街



第2分科会(B班)

アカデミックなまち

- ・アカデミックな街
- ・地域の魅力、特色を生かす
- ・人が学び続けることができる街
- ・音楽のある街づくり
- ・まちの歴史を知るまちづくり

人にやさしい街！

- ・健康に生活できる町
- ・人間の生活に一番基本的である安全、安心な街
- ・子どもを大事にするまち
- ・女性が再就職しやすい町
- ・子どもが元気に遊べる町
- ・人の個性を伸ばす街
- ・人作り！

自然との共生

- ・自然に親しむことができるまち
- ・コンパクトなまち
- ・自然豊かで人が生き生きとできる街
- ・自転車の乗れる街
- ・都会的ななかの街
- ・花だんのある街



第3分科会(A班)

生活, 安全・安心

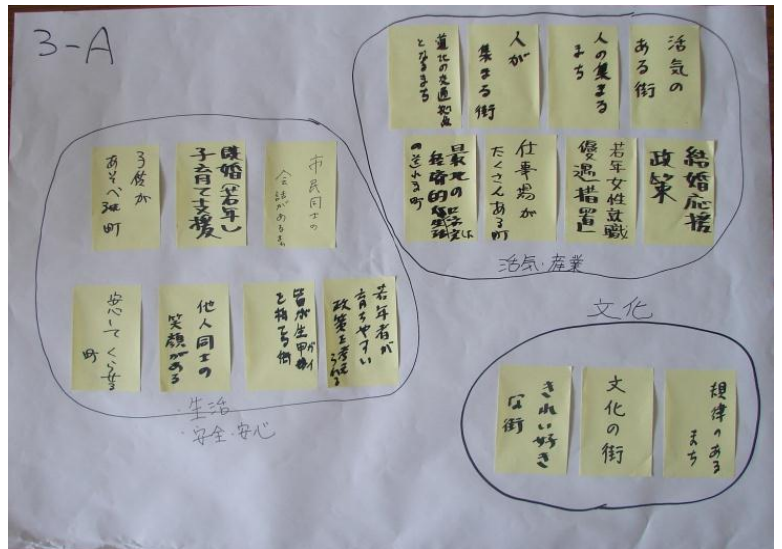
- ・子供が遊べる町
- ・既婚(若年)子育て支援
- ・市民同士の会話があるまち
- ・安心して暮らせる町
- ・他人同士の笑顔がある
- ・皆が生きがいを持てる街
- ・若年者が育ちやすい政策を考えられる

活気・産業

- ・道北の交通拠点となるまち
- ・人が集まる街
- ・活気のある街
- ・最北の経済的に安定した生活を送れる町
- ・仕事場がたくさんある町
- ・若年女性就職優遇措置
- ・結婚応援政策

文化

- ・きれい好きな街
- ・文化の街
- ・規律のあるまち



第3分科会(B班)

～安全で次世代につながるまち～

安全

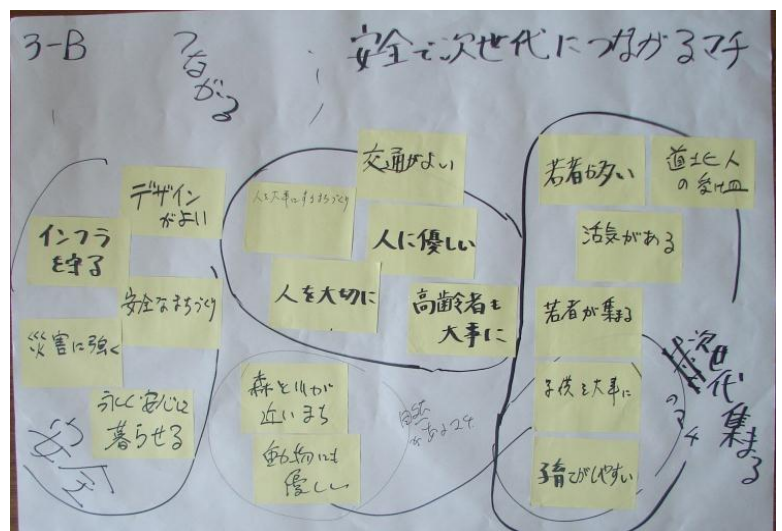
- ・デザインがよい
- ・インフラを守る
- ・安全なまちづくり
- ・災害に強く
- ・永く安心して暮らせる
- ・交通がよい
- ・人を大事にするまちづくり
- ・人に優しい
- ・人を大切に
- ・高齢者も大事に

次世代の集まるマチ

- ・道北人の受け皿
- ・若者が多い
- ・活気がある
- ・若者が集まる
- ・子供を大事に
- ・子育てがしやすい

自然があるまち

- ・森と川が近いまち
- ・動物にも優しい



第3分科会(C班)

次世代に夢を与えるまち（街）づくり

- ・文化都市
- ・屋外と屋内で楽しむ
- ・歩いて楽しい街
- ・人が動く街
- ・スポーツ都市
- ・四季を楽しめる街
- ・雪が降っても安心な街
- ・雪や寒さを味方にする街



コミュニケーション

- ・前向きに生きる
- ・良好な近所付き合い
- ・人にやさしい街

必要な安全

- ・日本一安全な街
- ・明るい街（夜でも）
- ・交通体系
- ・食料問題



第4分科会(A班)

～ハードからソフトへ（意識）～

まちづくり

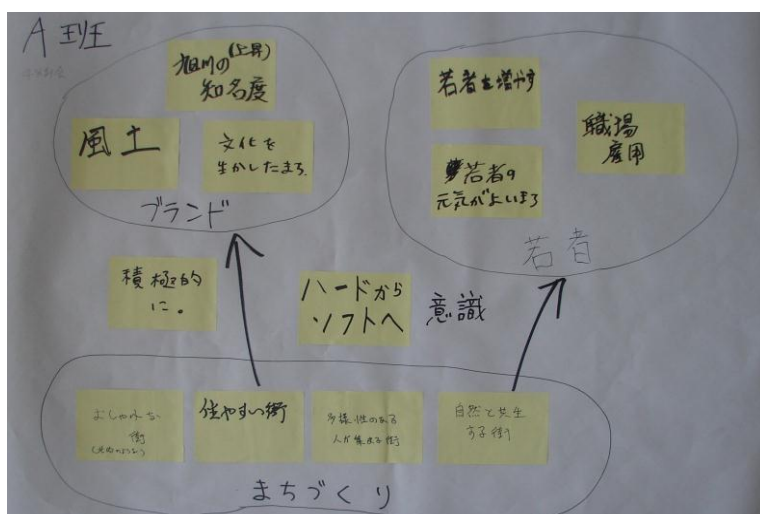
- ・おしゃれな街
- ・住みやすい街
- ・多様性のある人が集まる街
- ・自然と共生する街

若者

- ・若者を増やす
- ・若者の元気がよいまち
- ・職場雇用

ブランド（積極的に）

- ・風土
- ・旭川市知名度（上昇）
- ・文化を生かしたまち



第4分科会(B班)

～デザイン～

人

- ・働ける街
- ・人が沢山歩いている街
- ・外からの人を誘致する
- ・子供を増やす

文化教育

- ・日本一のデザインのまち
- ・学べる街
- ・文化教育を重視したまち

環境

- ・文化教育を重視したまち（再掲）
- ・高級住宅街をつくる
- ・木・樹と生きるまち

仕組み

- ・コンパクトで分かりやすくする
- ・交通機関の向上
- ・市役所のシステムを変える



第4分科会(C班)

～住みたい街 旭川～

人にやさしい街

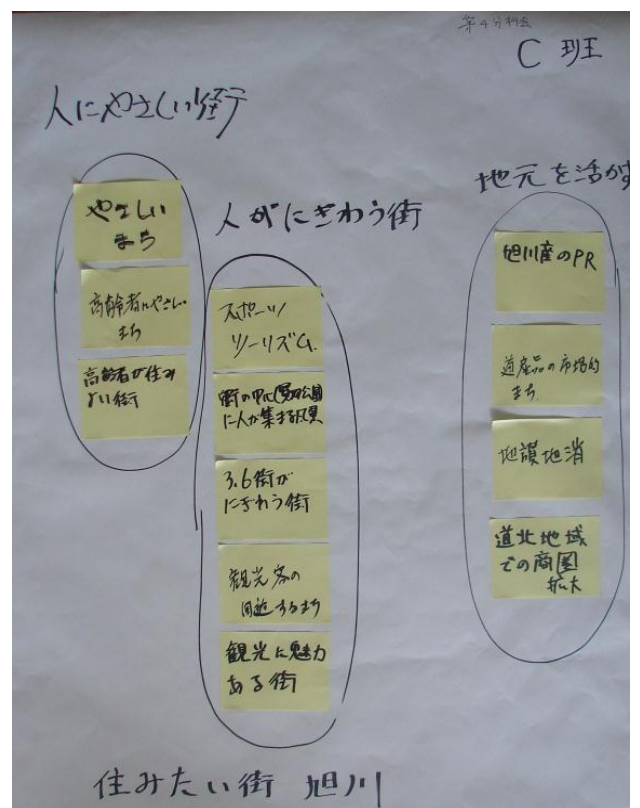
- ・やさしいまち
- ・高齢者にやさしいまち
- ・高齢者が住みよい街

人がにぎわう街

- ・スポーツツーリズム
- ・街の中心（買物公園）に人が集まる風景
- ・3・6街がにぎわう街
- ・観光客の回遊するまち
- ・観光に魅力のある街

地元を活かす

- ・旭川産のPR
- ・道産品の市場的まち
- ・地産地消
- ・道北地域での商圏拡大



旭川市総合計画市民検討会議委員名簿

【議長・副議長】（2名）

大学名	委員名	区分	備考
旭川医科大学	教授 坂本 尚志	学識経験者	議長
旭川市市民委員会連絡協議会	防犯部長 松野 和彦	団体推薦	副議長

【分科会】（45名）※副議長除く

第1分科会	推薦団体	委員名	区分	備考
福祉・子育て	1 旭川大学	准教授 栗田 克実	学識経験者	座長
	2 旭川医科大学	講師 塩川 幸子	学識経験者	副座長
	3 旭川市民生児童委員連絡協議会	副会長 山田 陽子	団体推薦	副座長
	4 旭川民間保育所相互育成会	事務局長 伊藤 康仁	団体推薦	
	5 旭川市居宅介護支援事業所等連絡協議会	幹事 大石 智也	団体推薦	
	6 旭川市老人クラブ連合会	事務局長 大森 裕	団体推薦	
	7 公募委員	工藤 未来	公募	
	8 旭川市社会福祉協議会	事務局長 酒本 俊司	団体推薦	
	9 公募委員	高田 好美	公募	
	10 北海道子どもの虐待防止協会道北支部	研修部 中島由美子	団体推薦	
	11 旭川市障害者総合相談支援センターあそと	相談支援専門員 永瀬 充	団体推薦	
第2分科会	推薦団体	委員名	区分	備考
教育・文化	1 北海道教育大学旭川校	准教授 大橋 賢一	学識経験者	座長
	2 旭川医科大学	教授 吉田 貴彦	学識経験者	副座長
	3 公募委員	泉澤 真紀	公募	副座長
	4 AMP旭川音楽振興会	事務局長 青木 理	団体推薦	
	5 旭川市教育研究会 社会科研究部	副部長 太田 健	団体推薦	
	6 旭川市体育協会	副会長 片岡 工	団体推薦	
	7 公募委員	佐藤 彰良	公募	
	8 旭川市PTA連合会	副会長 鈴木 玲子	団体推薦	
	9 公募委員	竹内 保	公募	
	10 旭川文化団体協議会	事務局長 森田 茂紀	団体推薦	
	11 北海道私立幼稚園協会旭川支部	参与 横田真由美	団体推薦	
第3分科会	推薦団体	委員名	区分	備考
安全・都市基盤	1 北海道教育大学旭川校	准教授 坂井 誠亮	学識経験者	座長
	2 東海大学	教授 小川 博	学識経験者	副座長
	3 北海道建築士事務所協会旭川支部	副支部長 重網 博美	団体推薦	副座長
	4 公募委員	東 直人	公募	
	5 旭川地区バス協会	事務局長 踊場 稔洋	団体推薦	
	6 公募委員	高橋 繁夫	公募	
	7 公募委員	鶴見 賢幸	公募	
	8 旭川消費者協会	地区幹事 富田 典子	団体推薦	
	9 旭川建設業協会	二世会会長 橋本 毅	団体推薦	
	10 旭川市消防団	副団長 古里 一朗	団体推薦	
	11 旭川市市民委員会連絡協議会	防犯部長 松野 和彦	団体推薦	副議長(再掲)
	12 NPO法人もりねっと北海道	理事 山本 牧	団体推薦	
第4分科会	推薦団体	委員名	区分	備考
産業・交流	1 旭川工業高等専門学校	教授 岡田 昌樹	学識経験者	座長
	2 旭川大学	准教授 浅沼 大樹	学識経験者	副座長
	3 旭川ホテル旅館協同組合	株式会社 高橋 仁美	団体推薦	副座長
	4 旭川食品加工協議会	事務局長 金田 道従	団体推薦	
	5 公募委員	小林 亜土	公募	
	6 旭川市国際交流委員会	副委員長 庄司 和晴	団体推薦	
	7 旭川機械金属工業振興会	旭川機械工業㈱ 関山 真教	団体推薦	
	8 旭川市内農協連絡会議	常務理事 土田 孝夫	団体推薦	
	9 公募委員	藤井 有二	公募	
	10 旭川平和通商店街振興組合	株式会社・西武 水落 良次	団体推薦	
	11 旭川物産協会	三葉製菓㈱ 水上 崇	団体推薦	
	12 旭川家具工業協同組合	代表理事 渡辺 直行	団体推薦	